資料１

部　会　議　事　録　　（まち協全体会資料）

部　会　名	片瀬・江の島まちづくり協議会　全体会
会　議　名	令和４年度　第９回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	２０２２年（令和４年）１２月１５日（木） 午後６時３０分から８時３０分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター　ホール
出　席　者	委　員：１８人（総数　２４人） 出席者：畠山会長、三觜副会長、徳江副会長、甘粕副会長、 澁谷副会長、甘粕（勇）委員、阪井委員、渡辺委員、 藤原委員、小原委員、甲斐委員、飯森委員、近藤委員、 福島委員、岡田委員、山口委員、保川委員、西永委員 事務局：６人（出席者　横田センター長、森井主幹、関口、下間、 國松、富樫）
報　　告	３　報告（資料１） （１）前回全体会について 議事録の確認 （２）各部会等からの報告 ア　人材・情報バンクセンター運営委員会 議事録のとおり。年末に、機関紙「らぶらぶ片瀬」を発行予定。 イ　ボランティアセンター運営委員会 小川委員退任により、広報ワーキングは岩田委員に交代。地域の縁側でのコーヒー提供は、１月から再開予定だったが延期。小学生の学習支援「ひだまり教室」の参加者募集を行っている。 ウ　青少年健全育成部会 １２月１日に開催した情報交換会について。 青少年関係団体、まちづくり協議会委員合計１７人と市危機管理課職員２人、講師の防災士がふじさわ防災ナビを中心に意見交換を行った。意見交換の結果については、後日改めて報告したい。 エ　郷土文化推進部会 １１月１１日に開催した公民館との共催事業後の意見交換を行った。 オ　広報ワーキング １２月９日の部会で、見やすい回覧のフォーマット、片瀬地区ポータルサイトについて検討を行った。 回覧については、めくったときに見やすくするような基本の

報　　告	仕様を決め、全体会に提案する予定。 　また、ポータルサイトの他地区の状況や運用について情報共有した。片瀬地区は長期間更新されていないことから地域団体がどのように関わるかが重要。ポータルサイトを活気づけるには、地域団体がそれぞれ更新し、団体の個性を出すことが必要である。更新は多少パソコンが使え、トレーニングを行えばできるので、次回の全体会で委員に見ていただきたい。 （３）地域団体からの報告 ア　生活環境協議会 　１日清掃デー、防犯協会・青少年健全育成会との合同パトロールの実施、藤沢市生活環境連絡協議会の視察研修の報告。 片瀬地区では、１１月３０日に市のリサイクルセンターの見学を行う予定。生環協普及啓発事業として、マイクロプラスチックストーリーに関する講演を実施。 イ　江の島振興連絡協議会 　１１月７日に１０００株の花植えを関係者５０人で実施。１１月８日にクリーンキャンペーンを島内の自治町内会関係者８０人で実施。１１月２５日に江の島防災対策協議会が行われ、避難訓練を２０２３年２月１０日に開催することが決定。 ウ　片瀬―市民スポーツの会 　１１月１６日にパークゴルフ事業を中井町で実施。２月１８日に卓球大会を片瀬しおさいセンターで開催する予定。 エ　自主防災協議会 　１２月３日に片瀬地区総合防災訓練を開催した。 オ　交通安全対策協議会 　１２月１２日に交通安全キャンペーン、１２月１４日に普及啓発活動を行った。 カ　青少年育成協力会 　１２月２日に防犯協会・生活環境協議会と合同でパトロールを実施。１２月２２日に片瀬小６年生を対象に花火大会を実施する予定。 キ　社会福祉協議会 　配達してくれるお店の一覧を１２月５日に全戸配布。 （４）地区交流会 　１１月２９日に開催された地区交流会についての報告。 　各地区の郷土づくり推進会議の活動状況について４グループに分かれて話し合い、発表を行った。六会地区にも人材・情報バンクセンターに似た活動があり、郷土づくり推進会議の事業として立上げ、ある程度活動が安定した時点で独立させ、新たな活動に取組んでいるとのこと。

議　題	（１）藤沢市企画制作部デジタル推進室のデジタル化に対する取組みについて　（デジタル推進室佐藤室長） 　デジタル推進室が事前に用意したスライドを用い、８月に市民を対象としたアンケートの結果や藤沢市で実施しているデジタル化の取組み、辻堂東海岸１丁目自治町内会で取り組んでいるホームページの運営や湘南大庭地区の地区ポータルサイトなどデジタル化の先進事例などを紹介し、意見交換を行った。
議題での検討事項・意見	［意見・質問］ ・世の中の流れとして、デジタル化に進んでいるので、デジタル媒体での情報配信は今後必要となる。一方、紙媒体も、回覧などを通じ人と人が接する機会にもなる。 　地域のホームページ等の運営は誰が行うのか。 →デジタル化を強要するものではない。便利なツールの一つとして地域の中で有効活用ができればよい。地域のデジタル化にあたっては、主体は地域団体となるが、行政も支援していきたい。 ・紹介があった湘南大庭地区のポータルサイトの運営どのように行っているのか。 →ホームページの運営は、住民が中心となり、郷土づくり推進会議のＩＣＴ部会も加わり行っている。ホームページを作って終わりではなく、今後も継続して積極的に情報発信ができるよう、地域団体皆さんの協力が必要である。 ・高齢者には、回覧版を隣の家に回すことも大変な人もいる。 誰一人取り残さない片瀬を目指すのであれば、高齢者の意見が届くような集会としてほしい。 ・今回のテーマとして、誰一人取り残さない片瀬を目指すということがもう一つの大きなテーマである。参加できない人にどのように情報を届けるかも考える必要がある。 ・地区集会では、デジタル化ありきではなく、紙も併用していく方針であることを伝えていくことで、デジタル化が難しい人も不安にならないのではないか。 ・グループトークテーマが広すぎると話がまとまらなくなってしまう。回覧についてなどのテーマにしたほうが良い。 ・グループトークのテーマを各グループに１つずつ設定することも進め方として良いのでは。 →テーマを絞り提示する中で、話が広がらないようにする。参加者数にもよるが、集中してグループトークができるよう、会場レイアウトなどを工夫していく。

	・グループトークでは、紙の回覧の良さや、普段仕事で回覧を見る機会がない人の両方の意見を聞くことができる。また、その結果、紙以外にも、デジタルで回覧を受け取るという選択肢を増やすことができる。 ・グループトークにあたり、デジタル化に伴うメリット、デメリットなど様々な意見が出てくると思う。その意見を具体化することも必要。 ・オンライン参加者でも気軽に意見が言えるようにしたほうが良い。 ・今回の地区集会のテーマは、１度で結論を出さず、いただいた意見を集約し、片瀬地区の中でどのように反映していくか検討するためのきっかけとなるようにする。 ・自分が必要な情報を得るためにどのようなことをしているか。という聞き方もよいのではないか。
次回までの 確認事項	意見交換、実施内容などについて ア　チラシについては、１月５日全戸配布。チラシの内容に意見等があれば１２月２３日まで事務局へ連絡。 イ　グループトークのテーマについては、後日、臨時で役員会を開催し検討する
その他	
次回会議 開催日時・場所	全体会 日時　２０２３年1月２６日（木）午後３時３０分から 場所　片瀬市民センター　ホール